

組合員のための **無料法律相談**
要予約
 9月23日(水)14時~15時半
 ●担当/山口第一法律事務所
 横山 詩士 弁護士
 ●場所 生協ふれあい会館2階「相談室」
 〓0836-34-2510
 〓0836-34-2510

健康をつくる 平和をつくる いのち輝く社会をつくる

健康のひろば

●発行 **医療生活協同組合健文会**
 ●発行責任者 専務理事 森 健弘

医療生協健文会現勢 2020年7月31日現在

●組合員	18,524人
●出資金額	613,634,000円
●平均出資金額	33,126円
●支部数	21支部
●登録班数	134班

住所変更等ありましたら、まちづくり組合員活動支援部までご連絡ください

〒755-0005 宇部市五十目山町16-23
 TEL 0836-33-6644 FAX 0836-33-6651
<http://www.mcoop-kenbun.jp/kenbun/>

定款地域(活動する地域)・・・山口県全域



**<山口民医連> 原水爆禁止
2020年世界大会(オンライン)**

8月6日 宇部協立病院多目的室にてWEB視聴参加&意見交換、国民平和大行進(宇部地域)の動画視聴、「考えよう核兵器・地球・私たちの未来」のパンフレット学習などをおこないました。



国民平和大行進

コロナ禍での国民平和大行進(山口県内)は、梅雨の大雨、梅雨明け直後の猛暑という厳しい最中、7月21日~8月2日まで県下各地でおこなわれました。



<恩田中央支部>

支部長が「原爆と大戦の真実」というファイルと、「私の戦争体験」という本を紹介。運営委員会で感想を出し合いながら見ていると、4歳当時、実際に空襲体験して恐ろしい思いをした話が出され、参加者はじっと聞き入りました。また、担当理事から、2年前の「沖縄全戦没者追悼式」で朗読した女子高校生の「生きる」という平和の詩をタブレットで紹介されました。



<岐波支部>

8月6日 支部運営委員会で「広島原爆の日」にあわせて黙とうを捧げ、核兵器廃絶国際署名を支部内でさらに広げることを確認しました。

被爆75年「平和の波」行動

だれもが “当事者”

**核兵器不拡散条約(NPT)発行50年
核兵器のない地球へ**

<総務部>

8月6日 被爆体験を黙読し黙とう、8月7日「考えよう核兵器・地球・私たちの未来」のパンフレット学習、折り鶴、平和へのメッセージ作成をしました。

<常盤支部>

8月7日ヒバクシャ国際署名連絡会が7月7日に出した「核兵器禁止条約の発効を目指し、世界の力を結集しよう」を支部運営委員会で読み合わせ、今後の運動について意見交換しました。

ヒロシマ・ナガサキへの原爆投下から75年

新型コロナウイルス感染症、地球温暖化、核兵器の問題に共通するのは、地球に住む私たちみんなが「当事者」ということ。この夏も、一人ひとりができることを、力を合わせてできること、実行しました。とりくみを明日につなげましょう。

被爆者、市民の運動で前進
 しかし、人類史上初めて核兵器を違法化した『核兵器禁止条約』の批准国は44か国(8/10現在)になり、条約発効に必要な50か国まで6か国となりませんでした。また、広島に原爆が投下された直後に、「黒い物質を含むいわゆる「黒い

核のない世界は、われわれの手からすり抜け、さらに遠のいていくように見える。対立や不信感、対話の欠如により、世界が無制限な核競争の再発の脅威にさらされている。——。自分の国の利益や「安全」を第一とする核大国の自国優先主義の下で、これまでであった核兵器配備の制限さえ相次いで無効にされ、使いやすい新たな核兵器の開発・配備が進められています。核兵器をめぐる状況は厳しさを増しています。体と心の痛みに耐えながら、つらい体験を語り、世界の人たちのために警告を発し続けてきた被爆者の核兵器廃絶の願いは叶っていません。

「核のない世界は、われわれの手からすり抜け、さらに遠のいていくように見える。対立や不信感、対話の欠如により、世界が無制限な核競争の再発の脅威にさらされている。——。自分の国の利益や「安全」を第一とする核大国の自国優先主義の下で、これまでであった核兵器配備の制限さえ相次いで無効にされ、使いやすい新たな核兵器の開発・配備が進められています。核兵器をめぐる状況は厳しさを増しています。体と心の痛みに耐えながら、つらい体験を語り、世界の人たちのために警告を発し続けてきた被爆者の核兵器廃絶の願いは叶っていません。」

【2面に関連記事】
 性物質を含むいわゆる「黒い

しかし、人類史上初めて核兵器を違法化した『核兵器禁止条約』の批准国は44か国(8/10現在)になり、条約発効に必要な50か国まで6か国となりませんでした。また、広島に原爆が投下された直後に、「黒い物質を含むいわゆる「黒い

「核のない世界は、われわれの手からすり抜け、さらに遠のいていくように見える。対立や不信感、対話の欠如により、世界が無制限な核競争の再発の脅威にさらされている。——。自分の国の利益や「安全」を第一とする核大国の自国優先主義の下で、これまでであった核兵器配備の制限さえ相次いで無効にされ、使いやすい新たな核兵器の開発・配備が進められています。核兵器をめぐる状況は厳しさを増しています。体と心の痛みに耐えながら、つらい体験を語り、世界の人たちのために警告を発し続けてきた被爆者の核兵器廃絶の願いは叶っていません。」

雨」を浴びて健康被害を受けたとして住民たちが訴えた裁判で、広島地方裁判所は全員を被爆者と認め、広島市などに対し、被爆者健康手帳を交付するよう命じました。「黒い雨」の影響が、国が指定した地域の外にもおよぶと認められたので、被爆者の認定基準の見直しも期待されます。これらを実現させた原動力は、被爆者の運動、被爆者とともに政策提言をおこなってきた市民の運動です。

【※】『ヒバクシャ国際署名』
 「後世の人びとが生き地獄を体験しないように、生きていくうちに何としても核兵器のない世界を実現したい」と2016年4月に始まり、2020年9月18日までに世界中で数億の署名を集めることを目標としている。2020年3月時点で11,843,549筆。秋の国連総会に提出される。

医療・介護・くらしの事など... **何でも相談ダイヤル** 一人でも悩みをかかえていませんか? まずはフリーダイヤルまでご連絡ください。「困った」解決をお手伝いします。 専用ダイヤル ☎(0120) 34-2510 まちづくり組合員活動支援部 平日の月曜~金曜 あさ9時~17時30分まで受付 **無料**

経済的なご事情などで医療費のお支払いにお困りの方、「無料低額診療事業」のご相談を受け付けしています。

シリーズ歯科だより 1

協立歯科リニューアルで 充実の歯科診療へ



協立歯科は2020年4月1日より、32年診療してきた診療所から協立病院西側に新築した協立歯科にリニューアルしました。新しい協立歯科では、歯科用CTを導入し、なかなか治らない歯周病の根源を調べたり、インプラント手術の際の診断も当院でおこなえるようになりました。さらに、予防歯科にとりくむために唾液検査も導入しました。

また、全館段差をなくし、トイレや問診を書く机など、車いすの方でも困難なく過ごせるようになりました。また、全館段差をなくし、トイレや問診を書く机など、車いすの方でも困難なく過ごせるようになりました。

虫歯リスクの検査もできます

自分の口は虫歯リスクが高いのかなど、1回1000円(税別)で唾液を調べただけで患者様1人ひとりにあった予防ツールをご提案できます。他にもカウンセリング室を設け、利用者に合った治療・要望を詳しく聞く時間を作っていますので、今まで以上に最適な治療のご提案ができるようになりました。

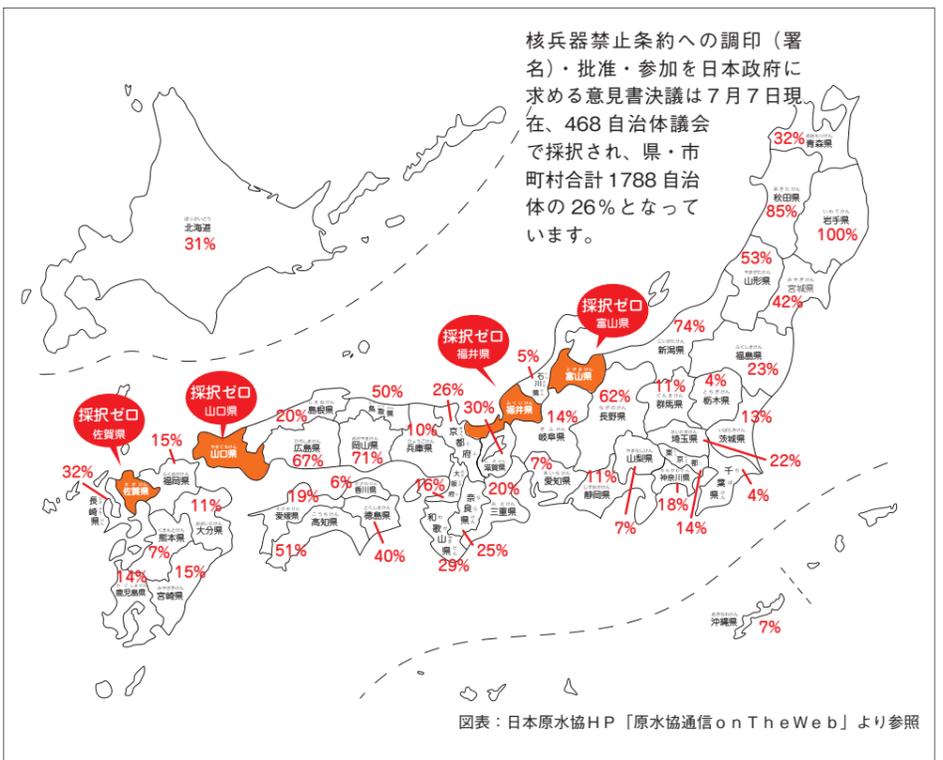
ぜひ、新しい協立歯科をご利用ください。

核兵器禁止条約への署名・批准を求める意見書を採択した地方議会の状況

唯一の戦争被爆国である日本政府は、核なき世界の先頭にたつ立場にあるにもかかわらず、この条約に署名、批准していません。安倍首相は、広島と長崎の平和式典でのあいさつで核兵器禁止条約について一切ふれませんでした。繰り返したのは「立場の異なる国々の橋渡しに努め、核兵器のない世界の実現に向けた国際社会のとらえ方をリードする」ということ。「橋渡し」とはどのような行動を指すのでしょうか？核兵器禁止条約に対する日本政府の姿勢が厳しく問われています。

日本政府に核兵器禁止条約への参加を求める意見書を採択した地方議会は468議会となり、都道府県を含む1788自治体の4分の1を超えました。山口県は「採択ゼロ」の4県のひとつです。

※核兵器禁止条約は、50か国目の批准書が国連事務総長に寄託されてから90日後に発効します。



核兵器禁止条約への署名・批准を求める意見書を採択した地方議会の状況

宇部・小野田医療圏に

地域外来・検査センター設置へ

7月1日、村岡県知事ら114人が「積極的感染拡大防止戦略による経済社会活動の正常化に向けた緊急提言」を発表しました。提言は、第二波に備え、1日当たりのPCRなどの検査件数を9月末までに全国で10万件、11月末までに20万件できる体制の整備が不可欠としています。全国10万件を山口県にあてはめると1日当たり約1000件となります。8月10日現在で、県内の感染者は、78名と急増していますが、PCR検査件数は、二けたで推移しているのが実態です。県内で抜本的



検体採取機械

にPCR検査件数を増やすことが不可欠です。

私は、4月臨時県議会で、「地域外来・検査センター」(以下、検査センター)の設置を求めました。6月県議会では、8医療圏に1カ所以上の検査センターを設置する補正予算が可決しました。宇部・小野田医療圏では、宇部市が受託し、8月中旬に、宇部市保健センター敷地内に検査センターが開設される見通しです。検査センターで検体採取をおこない、民間検査機関で検査されます。

(山口県議会議員 藤本一規)



宇部市保健センター

暑い夏をのりきり！お家での健康づくり

健康チャレンジしてみませんか？

健康のひろばの7月号・8月号です。すべての組合員のみなさまに健康チャレンジのパンフレットをお届けいたしました。

暑い夏をのりきり！コロナ禍でのお家での健康づくりに役立つ健康チャ

健康のひろばの7月号・8月号です。筋力低下によるフレイル予防や楽しみなながら、今の行動を変えるチャンスにしてみませんか。コースは2つまで申し込み可能です。9月中に近くの組合員さんに「申し込みハガキ」をお渡しになるか直接ハガキをポストに投函してください。お待ちしております。

Health Challenge 2020 promotional graphic with details on dates, times, and participation.

Application form for the Health Challenge, including contact information and a return address.



シャッターチャンスの一瞬だけ、マスクをとって「はこ〜っ！」

4月1日新卒入職者：前列左から片瀧亮介（研修医）、田部雅大（作業療法士）、大仲沙莉亜（事務）、赤間美沙樹（看護師）、近藤志津江（看護師）
この他に善甫健太郎（研修医）：敬称略

新入職員オリエンテーション

「理念の実践」って、

「どうやって実践するの？」

例年4月初めに3日間実施している新入職員オリエンテーション。まず伝えることは『仕事をするということ』は理念を實踐し発展させること。『医療福祉生協の理念』『医療福祉生協ののちの章典』『民医連綱領』などの理念を知ること、理念を實踐するって実際にどんなことなのかをイメージするために、地域や事業所の具体的な取り組みを紹介する予定でした。

実践例がずらり

7月21日に実施のめどが立ち、3密・換気に気をつけ実施しました。内容は、宇部協立病院、生協上宇部クリニック、生協小野田診療所内科、協立歯科、在宅介護福祉事業部、まちづくり組合員活動支援部、お結びの会、にじっこ、こころの紹介と私たちの目指す地域包括ケアとは何かのミニ講座。本来は1日かかるコースですが、半日でぎゅっと。

自分も主体者に

新入職員からは「まちづくりにはマニュアルはなく、一人ひとりが主体となって活動をしていかなければならないと実感しました」「患者・利用者だけでなく、その家族もくめて関わって、多職種連携で問題解決に向けて支援できていることがすごい」「紹介された動画やパワーポイントに登場する人たちの笑顔が素敵。活動内容がもたらした笑顔だと思ふ。そして、「自分も、できるよになりたい」との感想が。

実践は日常のなか

ある研修会で、理念を實踐するってどんなこと？というテーマについて「まず、ちゃんと挨拶をする。挨拶もしない人に困ったことを相談したくなりますか？」と語った職員がいます。理念の實現とは、難しいこと特殊な何か（時には、挑戦しなければならぬ）もありませんが、日常のなかで山あり谷ありと確認できたひとコマでした。「これをやればいい」「これで完結」というものではなく、あれもこれも理念と結びつくね、理念に照らすとこの行動することがささわしいよねと、日々のなかにある沢山の理念の實踐を確認しあえ、理念自体も発展できるといいですね。

お知らせ

見たい、聞きたい、学びたい -いのちと平和- 戦争も核もない美しい青空を 未来のこどもたちに引き継ごう

健文会「平和フェスタ2020」

- ◆日時：2020年10月11日（日）11:00~15:00
- ◆場所：宇部市総合福祉会館・3階講習室※定員あり
- ◆内容：
 - ① オンライン・シンポジウム（60分）＜※福島と山口の実況中継＞福島からのレポート
 - ② オンライン講演会・地元山口・3団体からのレポート（全体90分）
- ◆参加費：無料（※詳細は後日チラシご参照）

前進座公演「ちひろ・私 絵と結婚するの」1周年記念

息子の猛さんが語る・母いわさきちひろを語る 松本猛 講演会

- ◆日時：2020年10月3日（土）12:40開場
- ◆場所：宇部市多世代ふれあいセンター 2階ホール（宇部市・JR琴芝駅そば）
- ◆チケット料金 前売り700円（コロナ対応：限定100席）※高校生以下無料
- ◆主催：ちひろ友の会

※上記の企画については、新型コロナウイルス感染拡大によっては、急な変更・中止もあります

取り扱い・お問い合わせ先

健文会・まちづくり組合員活動支援部まで ☎(0836)34-2510

新型コロナウイルスと学校教育

山口県教職員組合（県教組）執行委員長 富永 謙一

新型コロナウイルスから子どもを守れ！安全で豊かな学びを子どもたちに！
今こそ20人学級實現を！

新型コロナウイルス感染拡大により、昨年度3月から新年度5月まで、学校は3ヶ月近い長期の臨時休校となりました。現在は学校も再開されていますが、安全確保と学習権保障の両立という大きな課題に直面しています。

20人学級實現で安全な学び場を

県教組の上部団体である全日本教職員組合（全教）

少人数学級要望の声次々と

全国校長会や全国PTA会などの教育関係者をはじめ、政府や自治体からも少人数学級を要望する声があがっています。日本教育学会は5月22日、小・中・高校の教職員を10万人増員すれば20人授業が可能、そのための予算は補正予算準備費10兆円の中から1兆円を充てれば可能とする提言を政府へ提出、全国知事会・全国市長会・全国町村会の地方3団体も7月2日、連名で「新しい時代の学びの環境整備に向けた緊急提言」を発表し、少人数学級により児童・生徒間の十分な距離を保つことができるよう教員の確保が是非とも必要とし、少人数編制を可能とする教員の確保を強く要望しました。

政府の経済財政諮問会議も7月8日、経済財政運営の指針「骨太の方針」の原案に、3密対策として小中学校での少人数指導体制の整備を盛り込みました。文科省は上限が40人となっている小中学校の学級規模を30人程度とする案を水面下で検討しているとも報道されています。

ネット署名にご協力を

著名な教育研究者有志のみなさんが7月18日、少人数学級を求めるネット署名を開始されました。全教も「#めさせ20人学級」プロジェクトをスタートし、インターネット署名を始めました。健文会のみなさんもぜひ署名へご協力ください。SNS等での拡散もお願いします。（詳細は全教ホームページを参照ください）

20人以下学級の實現を前面に出した「えがお署名」をインターネット上で始めることとしました。

右記のQRコードをご利用ください。SNSなどで拡散をお願いします。



第1次署名集約分の文科省への提出は、8月末または9月初めです。引き続き、みなさまのご協力をお願いします。

■転居及び氏名変更、亡くなられた場合(電話0836-34-2510)までご連絡ください。



コーヒーブレイク 27

健文会の仲間づくりを頑張りたい

私が「健文会」と深く関わったのは三年前です。始めは、何となく参加していましたが支部活動、班会、「ころばん体操班」など回を重ねていくうちにいろいろな人と出会え、楽しくおしゃべりしたり、体を動かし健康になる喜びをもらいました。

なんと今年からは支部長という大役も引き受けました。すべての人にやさしい健文会でありたいと願っています。そして、医療、福祉についても一緒に考えたりとも行動して



岬支部の仲間たちと記念撮影 (一番左側の女性: 富田康子さん)

いくうちにもっと「健文会」を多くの方に知ってもらい一人ひとりのつながりを大切に楽しい仲間づくりができればと思います。

(岬支部 富田康子)



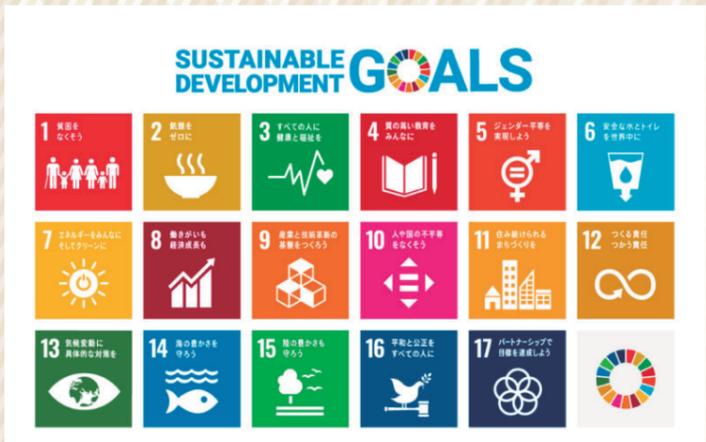
SDGs (持続可能な開発目標) は、2016年から2030年の15年間で達成が目指されている国際的な目標です。2015年9月に国連で開催された持続可能な開発サミットで国連加盟全193カ国によって採択されました。基本的な理念は誰一人取り残さない



今回は、目標16について

「持続可能な開発のための平和と包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する」とあります。なぜこの目標があるのか。持続可能な世界を実現するためには、世界中の人たちが、差別されることなく、暴力を受けることなく、災害や紛争に苦しむことなく、安全で安心な生活を送り、同じ立場で公正に話し合い、助けあい、一緒

に世界平和の実現にとりくむ必要があるからです。健文会の2020年度重点課題と事業計画のストーリーガンのひとつに「核兵器廃絶と気候危機対策という2つの人類の課題への挑戦を続けよう」があります。核兵器は、生命を無意味なものとし、希望をもって未来に目を向けるという、私たちの能力の発揮を妨げます。核兵器は、人権性を否定し、平等であるはずの幸福への権利を否定します。今月号の1面では、核兵器廃絶にむけた支部や事業所のとりくみを紹介しました。そう、私たちのとりくみは、SDGsの実践そのものなのです。



【応募方法】住所、氏名、年齢、電話番号を明記し、身近な出来事(意見)感想など、ひと言そえて下さい。(意見)感想は、掲載させていただきます)があります。ご了承下さい。 ●当選者に薄謝 5名様分 ●締切 2020年9月末日 ●発表 2020年11月号にて ●あて先 〒755-0005 宇部市五十日山15の7の1 医療生協健文会まちづくり組合員活動支援部クイズ係まで FAX: 0836-34-2512 E-mail: sosiki@kenbun@ahoo.co.jp 【2020年7月の答え】今年も「健康チャレンジ」は、引き続き、食生活・運動・睡眠休養・お口の健康・リラックス・私の健康法の6つのコースがあります。 【当選者】 下関支部 植屋幸子さん 山陽支部 古賀 剛さん 厚南支部 内野俊恵さん 上宇部川上支部 内田満智子さん 恩田西支部 小林 伸祐さん

健康のひろば クイズ 2020年9月号

コロナ感染から子どもを守り豊かな成長・発達を保障するために●人学級の実現を

(●に数字が入ります。ヒントは3面)

【応募方法】住所、氏名、年齢、電話番号を明記し、身近な出来事(意見)感想など、ひと言そえて下さい。(意見)感想は、掲載させていただきます)があります。ご了承下さい。 ●当選者に薄謝 5名様分 ●締切 2020年9月末日 ●発表 2020年11月号にて ●あて先 〒755-0005 宇部市五十日山15の7の1 医療生協健文会まちづくり組合員活動支援部クイズ係まで FAX: 0836-34-2512 E-mail: sosiki@kenbun@ahoo.co.jp 【2020年7月の答え】今年も「健康チャレンジ」は、引き続き、食生活・運動・睡眠休養・お口の健康・リラックス・私の健康法の6つのコースがあります。 【当選者】 下関支部 植屋幸子さん 山陽支部 古賀 剛さん 厚南支部 内野俊恵さん 上宇部川上支部 内田満智子さん 恩田西支部 小林 伸祐さん

読者の声

【恩田南支部 米本久子さん】雨上がりに畑を見ると、2本ずつしか植えていないのにキュウリ、ナス、ピーマンの実がたくさん実っています。キュウリは一度に20キ位塩漬けてキューちゃん漬けを作り、小分けして友達や近所の方におすそ分け。ナスはからし漬けや焼ナス、いため煮など。ピーマンは肉詰めにして食べています。もぎたての野菜は何を作ってもおいしいです。

【山口支部 小田恵子さん】長かった梅雨がやっと明けて夏がやって来た！サラリとした床の足触りが心地良い。

【恩田中央支部 西村貞美さん】いつも配達下さり有難うございます。コロナゆえ、感謝しています。

【恩田西支部 小林伸祐さん】毎朝、健康づくりのため、散歩をしています。歩くことは、第一の健康の基本だと思います。新鮮な空気を吸って、気分を整えて、歩くのは心地よいです。これからも続けます。

【山口支部 蔵重千恵子さん】コロナ禍で、かわいい東京の孫に会えない日々。とうとうスマホデビューしました。今までケータイも持っていなかったのに、友人たちもびっくり。孫のかわいい動画やテレビ電話を楽しんでいます。孫は強し！

【下関支部 植屋花梨さん】安倍政権、コロナと共に生きるように言われています。高校生活、野球は甲子園に行かれず残念。進路変更しようかなと思う日々です。就職したくてもできなくなる日が来るのであろうかと...